

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590017001	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (M1~M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	M1~3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引ながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。 - 単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。		
授業内容 / Class outline/Con	下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス) 1、発音 ・母音：特にei、ey、eu、äu、ie の発音、長母音か短母音かの区別 ・子音：音節末のb・d・g、ch、語末のig、j、qu、s、ss、ß、語頭のsp・st、sch、tsch など ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 ・人称代名詞と現在人称変化 ・sein、haben、werden ・平叙文、命令文、疑問文(決定疑問文、疑問詞のある疑問文) ・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性 ・格の用法 ・不規則変化動詞 ・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別 ・名詞の複数形と男性弱変化名詞 ・前置詞 ・形容詞 3、コミュニケーション ・挨拶表現 ・感謝とお詫び ・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方 ・時刻の尋ね方、答え方 4、文化および社会事情 ・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け テキストは15課から構成されているので、前期は7課まで進む。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「新・文法システム15」 西本美彦、Nishimoto, Angelika、高田博行 著、同学社		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価す。
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。
第2回	発音練習の続き、第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。
第3回	第1課の続き、語順など、練習問題。
第4回	第2課、名詞と冠詞、格変化など、練習問題。
第5回	第2課の続き、複数形、練習問題。
第6回	第3課、定冠詞類、接続詞など。
第7回	第3課の続き、男性弱変化名詞、練習問題。
第8回	第4課、不規則動詞の現在人称変化、命令形など。
第9回	第4課の続き、esの用法、練習問題。
第10回	第5課、人称代名詞、前置詞など。
第11回	第5課の続き、前置詞の融合形、練習問題。
第12回	第6課、形容詞の格変化など。
第13回	第6課の続き、助数詞、練習問題。
第14回	第7課、動詞の3基本形、過去人称変化など。
第15回	第7課の続き、過去形の用法、練習問題。
第16回	前期末試験。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590017002	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (L(独2)_E1～E6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	100程度の語数からなる自己紹介・人物紹介ができる		
授業方法(学習指導法) / Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	新倉真矢子(他著)『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テストの得点(20%) 講義中の取り組み方(10%) ○定期試験(個別)(40%) 共通試験(30%) 共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストを行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のあいさつ、アルファベット 【人と挨拶ができる】		
第2回	一人称と二人称の動詞の人称変化 【専攻や職業・国籍が言える、出身地・居住地を尋ね、答えることができる】		
第3回	三人称の動詞の人称変化 【人の出身地・居住地・職業・国籍などについて説明できる、短いテキストを読む】		
第4回	復習(現在人称変化)		
第5回	名詞の性、発音の規則 【身の回りの物の名前を正しい発音で挙げることができる】		
第6回	名詞の性、不定冠詞・否定冠詞の1格、複数形、1～10までの数字 【身の回りの物について説明できる】		
第7回	名詞の性、定冠詞の1格、人称代名詞の1格、形容詞(述語的用法) 【身の回りの物について説明できる】		
第8回	復習(冠詞の変化)、2・3・4格の冠詞、人称代名詞の1～4格		
第9回	不規則変化動詞の人称変化		
第10回	会話練習(ロールプレイ) 【レストランで注文ができる】		
第11回	文法補足(動詞の位置、疑問詞、Ja, Nein, dochの使い方)、11から100までの数字		

第12回	所有冠詞 【家族の紹介ができる、家族について話すことができる】
第13回	原形不定詞を使う表現 【自分の趣味や余暇活動が表現できる】
第14回	人物を紹介するテキストを読む、自己紹介の文章を書く、クラスメートについての紹介文を書く
第15回	まとめ（共通試験の準備）
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590017003	科目番号 / Subject code	05900170	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (L(独1)_F1～F3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄			
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
対象学生(クラス等) /Object Student	L1-6 F1-3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員TEL/Tel				
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。			
授業到達目標/Goal	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。			
授業方法(学習指導法) /Method	ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。			
授業内容/Class outline/Con				
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spaß!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テストと定期試験で70%(小テスト50%、定期試験50%)そして共通テスト30%			
受講要件(履修条件) /Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。			
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。			
第2回	動詞の現在人称変化(1) sein,habenの現在人称変化、定形の位置。			
第3回	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。			
第4回	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。			
第5回	動詞の現在人称変化(2) 特に注意すべき動詞。			
第6回	人称代名詞の3格、4格の用法。			
第7回	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。			
第8回	定形の位置。並列の接続詞。			
第9回	従属の接続詞。主文と副文。			

第10回	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
第11回	3 格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
第12回	話法の助動詞の人称変化と用法。
第13回	副文中の話法の助動詞。
第14回	動詞の 3 基本形。
第15回	過去形で日記を書く。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590017004	科目番号 / Subject code	05900170	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (T1～T5)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之			
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
対象学生(クラス等) /Object Student	T 1～5			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教育支援課)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。			
授業到達目標/Goal	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業方法(学習指導法) /Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。			
授業内容/Class outline/Con				
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書：在間・亀ヶ谷 「独検5級・4級・3級対応 ドイツ語文法」 三修社 (辞書は当面不要)			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	○共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。			
学生へのメッセージ/Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	アルファベット 発音、数詞・時間			
第2回	動詞の現在人称変化() 1. 動詞の現在人称変化			
第3回	動詞の現在人称変化() 2. 動詞の位置			
第4回	動詞の現在人称変化()・並列の接続詞 1. sein, haben, werden			
第5回	動詞の現在人称変化()・並列の接続詞 2. 並列の接続詞			
第6回	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 1. 定冠詞			
第7回	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 2. 不定冠詞 3. 否定冠詞			
第8回	名詞の複数形・人称代名詞 1. 名詞の複数形			
第9回	名詞の複数形・人称代名詞 2. 人称代名詞			
第10回	不定冠詞類・定冠詞類 1. 不定冠詞類：所有冠詞			
第11回	不定冠詞類・定冠詞類 2. 定冠詞類			
第12回	動詞の現在人称変化()・命令形 1. 不規則動詞の現在人称変化			
第13回	動詞の現在人称変化()・命令形 2. 命令形			
第14回	話法の助動詞・未来形 1. 話法の助動詞 2. 話法の助動詞の用法			
第15回	話法の助動詞・未来形 3. 話法の助動詞の現在人称変化 4. 話法の助動詞の位置 5. 未来形			
第16回	定期試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590017005	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (T6～T10)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	T 6 ～ 1 0		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) /Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書：在間進 「新生ドイツ文法 V6」 朝日出版社 (辞書は当面不要)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	○共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
学生へのメッセージ/Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	アルファベット 発音、数詞・時間		
第2回	動詞の現在人称変化() 1. 動詞の現在人称変化		
第3回	動詞の現在人称変化() 2. 動詞の位置		
第4回	動詞の現在人称変化()・並列の接続詞 1. sein, haben, werden		
第5回	動詞の現在人称変化()・並列の接続詞 2. 並列の接続詞		
第6回	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 1. 定冠詞		
第7回	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 2. 不定冠詞 3. 否定冠詞		
第8回	名詞の複数形・人称代名詞 1. 名詞の複数形		
第9回	名詞の複数形・人称代名詞 2. 人称代名詞		
第10回	不定冠詞類・定冠詞類 1. 不定冠詞類：所有冠詞		
第11回	不定冠詞類・定冠詞類 2. 定冠詞類		
第12回	動詞の現在人称変化()・命令形 1. 不規則動詞の現在人称変化		
第13回	動詞の現在人称変化()・命令形 2. 命令形		
第14回	話法の助動詞・未来形 1. 話法の助動詞 2. 話法の助動詞の用法		
第15回	話法の助動詞・未来形 3. 話法の助動詞の現在人称変化 4. 話法の助動詞の位置 5. 未来形		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590017006	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (D1・D2_K1～K3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	D1・2_K1～3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解(あるいは自己理解)についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法(学習指導法) /Method	授業中は文法等の説明、解説が中心になりますが、宿題として例文や単語を覚えてもらいます。確認小テストを数回行う予定(抜き打ちの場合有り)なので、気を抜かず自宅学習に取り組んでください。 既習事項の復習や問題の答え合わせにおいて、学生を指名して質問に答えてもらうことがあります。難しかったり分からなかったりするのならばヒントを出して誘導します。遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には教科書の順番に沿って進みますが、下記はあくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。 最初の数回は指定の教科書に載っていないあいさつ表現、辞書の見方、共通試験用の語彙リストの見方等の説明にも時間を使います。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通テスト3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては授業への取り組みや小テストの出来を見て多少加減する場合があります。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を持参してください。 (第1回目の授業時はまだ用意してなくて大丈夫です。)		
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の説明、ドイツ語のアルファベット、あいさつ		
第2回	発音		
第3回	発音続き、第1課(主語になる人称代名詞等)		
第4回	第1課続き(動詞の現在人称変化等)		
第5回	第1課続き(sein, haben, werden等)		
第6回	第2課(名詞の性、定冠詞、名詞の格等)		

第7回	第2課続き（不定冠詞等）
第8回	第3課（複数形、男性弱変化名詞等）
第9回	第4課（動詞の現在人称変化 2 等）
第10回	第4課続き（命令等）
第11回	第5課（冠詞類等）
第12回	第5課続き（人称代名詞等）
第13回	第6課（前置詞等）
第14回	第6課続き（従属接続詞、副文等）
第15回	前期復習、確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590017007	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (G1～G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 1 2 F パソコン室		
対象学生(クラス等) /Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部2号館(総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	ドイツ語検定5級合格		
授業方法(学習指導法) /Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	新倉真矢子(他)『Genau! コミュニケーションのドイツ語 neu』 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習・復習の実行状況(15%) 講義中の取り組み方(15%) ○定期試験1(個別試験)(40%) 統一試験準拠試験(30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。多文化社会学部の学生は「ドイツ語I」に関しては統一試験に準拠した問題で試験を行います。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特になし		
備考(URL) /Remarks(URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット 発音の規則		
第2回	ドイツ語のあいさつ 動詞の人称変化(1人称・2人称)		
第3回	動詞の人称変化(3人称) seinとhaben		
第4回	名詞の性		
第5回	定冠詞・不定冠詞		
第6回	代名詞		
第7回	複数形		
第8回	不定冠詞・否定冠詞		
第9回	所有冠詞		

第10回	人称代名詞の1格と4格
第11回	不規則変化動詞
第12回	命令形
第13回	話法の助動詞
第14回	会話練習 テスト対策
第15回	まとめ テスト対策
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590017008	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (M4～M6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	M4～6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。 現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引ながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。		
授業内容/Class outline/Con	下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス) 1、発音 ・母音：特にei、ey、eu、äu、ie の発音、長母音か短母音かの区別 ・子音：音節末のb・d・g、ch、語末のig、j、qu、s、ss、ß、語頭のsp・st、sch、tsch など ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 ・人称代名詞と現在人称変化 ・sein、haben、werden ・平叙文、命令文、疑問文(決定疑問文、疑問詞のある疑問文) ・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性 ・格の用法 ・不規則変化動詞 ・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別 ・名詞の複数形と男性弱変化名詞 ・前置詞 3、コミュニケーション ・挨拶表現 ・感謝とお詫び ・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方 4、文化および社会事情 ・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け テキストは12課から構成されているので、前期は6課まで進む。各課を2～3回の授業でを終える。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「はじめてのドイツ語コミュニケーション」 小川さくえ、片岡律子、宮本絢子 著、白水社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		

学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。
第2回	発音の続き、数詞（付録）。第1課、本文の和訳、動詞の現在人称変化、人称代名詞など。
第3回	第1課の続き、本文の和訳、定動詞の位置、練習問題。
第4回	第2課、本文の和訳、不規則な現在人称変化など。
第5回	第2課の続き、本文の和訳、命令形、練習問題。
第6回	第3課、本文の和訳、定冠詞、不定冠詞、格の用法など。
第7回	第3課の続き、本文の和訳、人称代名詞、練習問題。
第8回	第4課、本文の和訳、dieser型とmein型、名詞の複数形など。
第9回	第4課の続き、本文の和訳、時刻の言い方、練習問題。
第10回	第5課、本文の和訳、前置詞など。
第11回	第5課の続き、本文の和訳、月名の言い方、練習問題。
第12回	第5課の続き、本文の和訳、疑問詞、練習問題。
第13回	第6課、本文の和訳、形容詞の語尾変化など。
第14回	第6課の続き、本文の和訳、形容詞の比較級と最上級、練習問題。
第15回	第6課の続き、本文の和訳、序数、練習問題。
第16回	前期末試験。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590017009	科目番号 / Subject code	05900170	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (P1・P2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也			
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年, 5年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
対象学生(クラス等) /Object Student	P 1・2			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館 5 2 4 研究室			
担当教員TEL/Tel	095-820-6399			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業のねらい: ドイツ語の初級文法を現在時制(+未来形)の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。			
授業到達目標/Goal	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業方法(学習指導法) /Method	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。			
授業内容/Class outline/Con	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	辞書の説明、発音			
第2回	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞			
第3回	定冠詞、不定冠詞、格の用法			
第4回	不規則動詞、命令形			
第5回	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞			
第6回	名詞の複数形			
第7回	nichtとkein、目的語の語順			
第8回	前置詞			
第9回	形容詞と形容詞の名詞化			
第10回	話法の助動詞、未来形			
第11回	序数と日付の表現			
第12回	分離動詞、非分離動詞			
第13回	従属接続詞と並列接続詞			
第14回	間接疑問文			
第15回	ランデスクンデ			
第16回	まとめと定期試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019001	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (M1~M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	M1~3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。 - 単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。		

授業内容/Class outline/Con	下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 （共通シラバス） 1、発音 ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 ・形容詞（不加語的用法と述語的用法）と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 ・再帰代名詞と再帰動詞 ・zu不定詞 ・esの用法（自然現象、時刻の表現） ・不定代名詞man ・形容詞の原級、比較級、最上級 ・受動態と状態受動 ・関係代名詞 ・指示代名詞 ・接続法 3、コミュニケーション ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方 ・家族と趣味についての尋ね方と答え方 ・日付についての尋ね方と答え方 前期に引き続いて、8課から15課まで。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	「新・文法システム15」 西本美彦、Nishimoto, Angelika、高田博行 著、同学社
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価す。
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第8課、現在完了、過去完了など。
第2回	第8課の続き、形容詞の比較級、最上級、練習問題。
第3回	第9課、話法の助動詞など。
第4回	第9課の続き、未来形、従属接続詞、練習問題。
第5回	第10課、分離動詞など。
第6回	第10課の続き、zu不定詞句、練習問題。
第7回	第11課、再帰動詞など。
第8回	第11課の続き、現在分詞、過去分詞、練習問題。
第9回	第12課、指示代名詞、関係代名詞など。
第10回	第12課の続き、関係代名詞、練習問題。
第11回	第13課、受動態など。
第12回	第13課の続き、状態受動、練習問題。
第13回	第14課、接続法、間接話法、練習問題。
第14回	第14課の続き、練習問題。第15課、接続法（2）、非現実話法など。
第15回	第15課の続き、非現実話法、練習問題。
第16回	後期末試験。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019002	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (L(独2)_E1 ~ E6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	時事問題に関する文章の読解、ドイツ語検定4級合格		
授業方法(学習指導法) /Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。時事問題に関する文章を読む。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	新倉真矢子(他著)『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テストの得点(20%) 講義中の取り組み方(10%) ○定期試験(個別)(40%) 共通試験(30%) (12月のドイツ語技能検定の結果に応じて加点します。) 共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストを行ないます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語Iの復習、命令形 【人を何かに誘える】		
第2回	話法の助動詞 【休暇の予定が言える】		
第3回	3格を使う表現、前置詞 zu + 3格		
第4回	3格支配の前置詞(an, bei, von・・・bis) 【予定について書かれたテキストが読める】		
第5回	3格支配の前置詞、3・4格支配の前置詞		
第6回	分離動詞、非分離動詞		
第7回	時間の表現、再帰表現 【自分の1日の行動が表現できる、時刻が言える】		
第8回	不定詞		
第9回	過去形、現在完了形		
第10回	接続詞 【過去のことについて書かれたテキストが読める】		
第11回	比較級・最上級、非人称表現 【天候に関する話ができる】		
第12回	関係代名詞		

第13回	読解 【時事問題に関するテキストが読める】
第14回	読解 【時事問題に関するテキストが読める】
第15回	まとめ（共通試験の準備）
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019003	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (L(独1)_F1 ~ F3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	L1-6 F1-3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatsutsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヨーロッパで通用する言語は英語ではありません。ドイツ語を話す人々が多いことも事実です。そこで利用価値のあるドイツ語を身につけましょう。		
授業到達目標/Goal	挨拶から始まり、趣味までドイツ語で話せるようになります。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎回二人一組にして、新しい表現を会話形式で練習し、音として自然に身に付くようにします。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spaß!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テストと定期試験で70%(小テスト50%、定期試験50%)そして共通テスト30%		
受講要件(履修条件) /Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	グリム童話の映像を見ます。完了形。英語の現在完了形の知識を活用して、ドイツ語の完了形を理解します。		
第2回	完了の助動詞habenとsein。		
第3回	分離動詞の用法、過去形、過去分詞。		
第4回	分離動詞のzu不定詞。副文中の分離動詞。		
第5回	形容詞の用法、1格から4格までの変化。		
第6回	原級、比較級、最高級の述語的用法。		
第7回	再帰動詞の用法。		
第8回	esの用法。		
第9回	定関係代名詞の用法。ここまでの名詞の性、数、格の理解の度合いが問われます。		
第10回	不定関係代名詞の用法。		
第11回	動作受動の用法。		
第12回	状態受動の用法。		
第13回	直説法と接続法の違いと重要性。		
第14回	接続法の丁寧な表現と非現実の表現。		
第15回	現在分詞と過去分詞。		
第16回	zu不定詞の用法。総復習。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590019004	科目番号 / Subject code	05900190	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (T1～T5)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之			
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
対象学生(クラス等) /Object Student	T 1～5			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教育支援課)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。			
授業到達目標/Goal	ドイツ語 で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業方法(学習指導法) /Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。			
授業内容/Class outline/Con				
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書：在間・亀ヶ谷 「独検5級・4級・3級対応 ドイツ語文法」 三修社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	○共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。			
学生へのメッセージ/Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 1．前置詞			
第2回	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 2．再帰代名詞・再帰動詞			
第3回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 1．分離動詞 2．非分離動詞			
第4回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 3．分離動詞と非分離動詞			
第5回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 4．zu不定詞			
第6回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 5．従属の接続詞			
第7回	動詞の3基本形()・過去形・現在完了形 1．動詞の3基本形()			
第8回	動詞の3基本形()・過去形・現在完了形 2．過去形			
第9回	動詞の3基本形()・過去形・現在完了形 3．現在完了形			
第10回	動詞の3基本形()・受動態 1．動詞の3基本形()			
第11回	動詞の3基本形()・受動態 2．受動態			
第12回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 1．形容詞の変化			
第13回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 2．形容詞・副詞の比較変化			
第14回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 3．定関係代名詞			
第15回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 4．不定関係代名詞・関係副詞			
第16回	定期試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590019005	科目番号 / Subject code	05900190	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (T6～T10)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之			
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
対象学生(クラス等) /Object Student	T 6 ～ 1 0			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教育支援課)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。			
授業到達目標/Goal	ドイツ語 で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業方法(学習指導法) /Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。			
授業内容/Class outline/Con				
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書：在間進 「新生ドイツ文法 V6」 朝日出版社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	○共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。			
学生へのメッセージ/Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 1．前置詞			
第2回	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 2．再帰代名詞・再帰動詞			
第3回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 1．分離動詞 2．非分離動詞			
第4回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 3．分離動詞と非分離動詞			
第5回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 4．zu不定詞			
第6回	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 5．従属の接続詞			
第7回	動詞の3基本形()・過去形・現在完了形 1．動詞の3基本形()			
第8回	動詞の3基本形()・過去形・現在完了形 2．過去形			
第9回	動詞の3基本形()・過去形・現在完了形 3．現在完了形			
第10回	動詞の3基本形()・受動態 1．動詞の3基本形()			
第11回	動詞の3基本形()・受動態 2．受動態			
第12回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 1．形容詞の変化			
第13回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 2．形容詞・副詞の比較変化			
第14回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 3．定関係代名詞			
第15回	形容詞の変化・比較・関係代名詞 4．不定関係代名詞・関係副詞			
第16回	定期試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019006	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (D1・D2_K1～K3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	D1・2_K1～3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解(あるいは自己理解)についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法(学習指導法) /Method	授業中は文法の説明、解説が中心になりますが、宿題として例文や単語を覚えてもらいます。確認小テストを数回行う予定(抜き打ちの場合有り)なので、気を抜かず自宅学習に取り組んでください。 既習事項の復習や問題の答え合わせにおいて、学生を指名して質問に答えてもらうことがあります。難しかったり分からなかったりするのならばヒントを出して誘導します。遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には教科書の順番に沿って進みますが、下記はあくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通テスト3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては授業への取り組みや小テストの出来を見て多少加減する場合があります。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐がらなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課(話法の助動詞等)		
第2回	第7課続き(未来形等)		
第3回	第8課(分離動詞・非分離動詞等)		
第4回	第8課続き(再帰、非人称主語es等)		
第5回	第9課(形容詞の語尾等)		
第6回	第9課続き(形容詞の語尾、形容詞の名詞化等)		
第7回	第9課続き(形容詞の比較変化等)		
第8回	第10課(動詞の3基本形等)		
第9回	第10課続き(動詞の過去人称変化等)		

第10回	第11課（完了形等）
第11回	第11課続き（完了形等）
第12回	第12課（受動態等）
第13回	第12課続き（zu不定詞、分詞等）
第14回	第13課（指示代名詞、関係代名詞等）
第15回	第13課続き（関係代名詞等）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019007	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (G1 ~ G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 1 2 F パソコン室		
対象学生(クラス等) /Object Student	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部2号館(総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14 : 30-16 : 00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	ドイツ語検定4級合格		
授業方法(学習指導法) /Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	新倉真矢子(他)『Genau! コミュニケーションのドイツ語 neu』 第三書房 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習・復習の実行状況(15%) 講義中の取り組み方(15%) ○定期試験(個別)(40%) 統一試験(30%) 統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特になし		
備考(URL) /Remarks(URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語Iの復習		
第2回	3格・3格支配の前置詞・3格の人称代名詞		
第3回	3・4格支配の前置詞		
第4回	分離動詞		
第5回	zu不定詞		
第6回	再帰代名詞		
第7回	過去形		
第8回	現在完了形		
第9回	従属接続詞		
第10回	比較級・最上級		
第11回	非人称表現		
第12回	文法補足(受動態) 総合演習		
第13回	文法補足(非分離動詞) 総合演習		

第14回	文法補足（前置詞と動詞句） 試験対策
第15回	まとめ 試験対策
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019008	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (M4~M6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	M4~6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引ながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。		
授業内容/Class outline/Con	下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス) 1、発音 ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 ・形容詞(不加語的用法と述語的用法)と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 ・再帰代名詞と再帰動詞 ・zu不定詞 ・esの用法(自然現象、時刻の表現) ・不定代名詞man ・形容詞の原級、比較級、最上級 ・受動態と状態受動 ・関係代名詞 ・指示代名詞 3、コミュニケーション ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方 ・家族と趣味についての尋ね方と答え方 ・日付と時刻についての尋ね方と答え方 前期に引き続いて、7課から12課まで進む。2~3回の授業で1課を終える。		

教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	「はじめてのドイツ語コミュニケーション」 小川さくえ、片岡律子、宮本絢子 著、 白水社
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課、本文の和訳、話法の助動詞、未来形など。
第2回	第7課の続き、本文の和訳、未来形、練習問題。
第3回	第8課、本文の和訳、分離動詞、非分離動詞、接続詞など。
第4回	第8課の続き、本文の和訳、接続詞、副文、練習問題。
第5回	第9課、本文の和訳、動詞の3基本形など。
第6回	第9課の続き、本文の和訳、過去人称変化、練習問題。
第7回	第10課、本文の和訳、現在完了など。
第8回	第10課の続き、本文の和訳、過去完了、練習問題。
第9回	第10課、本文の和訳、ドイツの州と州都、練習問題。
第10回	第11課、本文の和訳、再帰動詞、再帰代名詞など。
第11回	第11課、本文の和訳、zu不定詞、練習問題。
第12回	第11課の続き、本文の和訳、受動態、esの用法、練習問題。
第13回	第12課、本文の和訳、関係代名詞など。
第14回	第12課の続き、本文の和訳、不定関係代名詞、練習問題。
第15回	第12課の続き、本文の和訳、接続法（付録）、練習問題。
第16回	後期末試験。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590019009	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (P1・P2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也		
科目分類 / Class type	外国語科目, A科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	P1・2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館 5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8～1.2)に反映させます。		
授業到達目標/Goal	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) /Method	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業内容/Class outline/Con	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計点が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	動詞の三基本形、過去		
第2回	現在完了		
第3回	過去完了、未来完了		
第4回	再帰動詞		
第5回	zu不定詞		
第6回	esの用法		
第7回	比較		
第8回	受動態		
第9回	関係代名詞		
第10回	指示代名詞		
第11回	不定関係代名詞、関係副詞		
第12回	接続法(1)		
第13回	接続法(2)		
第14回	ラundsクンデ		
第15回	総復習		
第16回	総復習と定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021001	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2M1 ~ 2M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2M		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標/Goal	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法(学習指導法) /Method	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『スウェーデン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(50%)、定期試験(50%)		
受講要件(履修条件) /Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見ます。ドイツ語文法の簡単な復習。自己紹介とその質疑応答。		
第2回	旅行と交通。列車時刻表の見方。		
第3回	列車の発車・到着時刻を尋ねる。		
第4回	駅で切符を買う。		
第5回	レストランで食事を注文する。		
第6回	日本と違うレストランでの支払。		
第7回	ホテルを探す、予約する。		
第8回	街中で道を尋ねる。		
第9回	ユーロに両替をする。日本への切手を買う。		
第10回	ヨーロッパの天気について話す。		
第11回	週末に何をしたかを尋ねる。		
第12回	病状の表現。		
第13回	薬局で薬を買う。		
第14回	会社に病気で出勤できないと伝える。		
第15回	いつ誰に何をプレゼントするかを話す。		
第16回	プレゼントを買う。総復習。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021002	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2L1～2L3_2F1～2F3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) /Object Student	2L1～3, 2F1～3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしながら、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。		
授業到達目標/Goal	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引ながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業方法(学習指導法) /Method	・教科書に従って、初級文法を確認し、応用しながら、平易なドイツ語文章を数多く読んでゆく。 ・教科書は、推理小説風の物語を中心に構成されている。他に時事的な報告文や文学作品から抜粋などもある。これらの長文を読んでゆくことを、授業の中心にする。 ・関連する文法の練習問題にも取り組む。 ・教室では毎回3～4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。 ・できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。		
授業内容/Class outline/Con	・教科書では、推理小説風の物語「黄金仮面の秘密」を中心に読んでゆく。文法の説明や練習問題にも取り組む。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。前期は7課まで進む。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	「ドイツ語の時間 ―読解編― <読めると楽しい>」 清野智明、須藤温子、曾田素子 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課、発音練習と文法の確認。「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と練習問題。		
第2回	第1課の続き、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの和訳と練習問題(動詞の現在人称変化など)。		
第3回	第2課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳		
第4回	第2課の続き、和訳と練習問題(名詞の格変化など)。		
第5回	第3課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキスト朗読と和訳。		
第6回	第3課の続き、和訳と練習問題(不規則動詞の現在人称変化など)。		
第7回	第4課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。		
第8回	第4の続き、和訳と練習問題(前置詞、副文など)。		
第9回	第5課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。		
第10回	第5課の続き、和訳と練習問題(再帰動詞、esの用法)。		
第11回	第6課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。		
第12回	第6課の続き、和訳と練習問題(定冠詞類、不定冠詞類など)。		

第13回	第7課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。
第14回	第7課の続き、和訳と練習問題(zu不定詞句など)。
第15回	第7課の続き、和訳と練習問題(分離動詞など)。
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021003	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● ドイツ語 (2E1～2E6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、 またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて 各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Goal	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、 語彙を増やし定着させること、 ドイツ語的な表現・発想の理解。		
授業方法(学習指導法) /Method	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。 解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。		
授業内容/Class outline/Con	毎回任意の学生を指名し、宿題に出した問題の解答を板書してもらいます。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示 をしてください。 知らないことや間違いがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 基本的には教科書に沿って進みますが、下記はあくまでも予定です。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satzübungen für Anfänger(はじめての独作文)』(朝日出版社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に定期テストの点数で評価します。 しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の説明、名詞の性と数		
第2回	動詞の現在形(1)		
第3回	定冠詞と名詞の格変化(定冠詞類)		
第4回	定動詞の位置(1)		
第5回	動詞の現在形(2)		
第6回	動詞の現在形(3)		
第7回	定動詞の位置(2)		
第8回	不定冠詞と不定冠詞類(名詞の複数形)		
第9回	疑問代名詞		
第10回	人称代名詞		
第11回	前置詞(1)		
第12回	前置詞(2)		
第13回	前置詞(3)		

第14回	分離動詞
第15回	過去形
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021004	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2T1 ~ 2T5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2T1 ~ 2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標/Goal	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業方法(学習指導法) /Method	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(50%)、定期試験(50%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	映像で同世代のドイツの若者達の生活を見る。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	自分の1日の生活をドイツ語で表現する。		
第3回	列車の旅。時刻表の見方。		
第4回	レストランで注文する。		
第5回	食事代を支払う。		
第6回	2回から5回までの復習		
第7回	郵便局はどこにありますか。		
第8回	この近くにスーパーはありますか。		
第9回	日本への手紙はいくらですか。		
第10回	そちらの天気はどうか。		
第11回	7回から10回までの復習		
第12回	誕生日に何をプレゼントしますか。		
第13回	カメラ店で。		
第14回	ドイツの祝日。		
第15回	12回から14回までの復習		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021005	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2T6～2T10)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) /Object Student	2T6～2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。		
授業方法(学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	* 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは授業終了前に授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、ディクテーション)50%		
受講要件(履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	発音(S.ii-v) Lektion1:Selbstvorstellung (S.1-2)		
第2回	Lektion1:Selbstvorstellung (S.3-6)		
第3回	Lektion2:Meine Familie (S.7-9)		
第4回	Lektion2:Meine Familie (S.10-12)		
第5回	Lektion3:Meine Hobbys (S.13-15)		
第6回	Lektion3:Meine Hobbys (S.16-18)		
第7回	Lektion4:Zum Chimsee (S.19-21)		
第8回	Lektion4:Zum Chimsee (S.22-24)		
第9回	Lektion5:Gesundheit (S.25-27)		
第10回	Lektion5:Gesundheit (S.28-30)		
第11回	Lektion6:Einkaufen (S.31-33)		
第12回	Lektion6:Einkaufen (S.34-36)		

第13回	Lektion7:Muenchen (S.37-39)
第14回	Lektion7:Muenchen (S.40-42)
第15回	前期のまとめ、模擬試験
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590021006	科目番号 / Subject code	05900210	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2D1・2D2_2K1～2K3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史			
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟12			
対象学生(クラス等) /Object Student	2D1・2D2_2K1～2K3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。			
授業到達目標/Goal	・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。			
授業方法(学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。			
授業内容/Class outline/Con	* 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは授業終了前に授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。			
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、ディクテーション)50%			
受講要件(履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	発音(S.ii-v) Lektion1:Selbstvorstellung (S.1-2)			
第2回	Lektion1:Selbstvorstellung (S.3-6)			
第3回	Lektion2:Meine Familie (S.7-9)			
第4回	Lektion2:Meine Familie (S.10-12)			
第5回	Lektion3:Meine Hobbys (S.13-15)			
第6回	Lektion3:Meine Hobbys (S.16-18)			
第7回	Lektion4:Zum Chimsee (S.19-21)			
第8回	Lektion4:Zum Chimsee (S.22-24)			
第9回	Lektion5:Gesundheit (S.25-27)			
第10回	Lektion5:Gesundheit (S.28-30)			
第11回	Lektion6:Einkaufen (S.31-33)			
第12回	Lektion6:Einkaufen (S.34-36)			

第13回	Lektion7:Muenchen (S.37-39)
第14回	Lektion7:Muenchen (S.40-42)
第15回	前期のまとめ、模擬試験
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021007	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2P1・2P2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) /Object Student	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。		
授業方法(学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	* 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは授業終了前に授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、ディクテーション)50%		
受講要件(履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	発音(S.ii-v) Lektion1:Selbstvorstellung (S.1-2)		
第2回	Lektion1:Selbstvorstellung (S.3-6)		
第3回	Lektion2:Meine Familie (S.7-9)		
第4回	Lektion2:Meine Familie (S.10-12)		
第5回	Lektion3:Meine Hobbys (S.13-15)		
第6回	Lektion3:Meine Hobbys (S.16-18)		
第7回	Lektion4:Zum Chimsee (S.19-21)		
第8回	Lektion4:Zum Chimsee (S.22-24)		
第9回	Lektion5:Gesundheit (S.25-27)		
第10回	Lektion5:Gesundheit (S.28-30)		
第11回	Lektion6:Einkaufen (S.31-33)		
第12回	Lektion6:Einkaufen (S.34-36)		

第13回	Lektion7:Muenchen (S.37-39)
第14回	Lektion7:Muenchen (S.40-42)
第15回	前期のまとめ、模擬試験
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590021008	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2G1～2G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2G1-2G3		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパ-トナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法(学習指導法) /Method	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	楽しくパートナー練習 参加型教材		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書：三宅・コッホ 「アクティブに使うドイツ語・ノイ」 三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	○ 1 . 定期試験の成績(50%)、 2 . 毎時間の口頭発表および課題の提出(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
学生へのメッセージ/Message for students	次回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくとい良いでしょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	あいさつ：いろいろな場面に応じたあいさつ表現を覚え、ドイツ語の発音をもう一度確認する。		
第2回	自己紹介：自分の名前、出身、住所を伝え、相手の名前、出身、住所を尋ねる。		
第3回	自己紹介：自分の国籍、年齢、職業を伝え、相手の国籍、年齢、職業を尋ねる。		
第4回	第三者の紹介：自分と相手以外の人物について相手に伝え、相手に尋ねる。		
第5回	余暇：自分の趣味を相手に伝え、相手の趣味を尋ねる。		
第6回	余暇：自分の余暇活動を相手に伝え、相手を勧誘する。		
第7回	余暇：第三者の趣味や余暇活動について相手に伝え、相手に尋ねる。		
第8回	一日のできごと：自分の一日の生活について相手に伝え、相手の一日の生活について尋ねる。その1		
第9回	一日のできごと：自分の一日の生活について相手に伝え、相手の一日の生活について尋ねる。その2		
第10回	一日のできごと：第三者の一日の生活について相手に伝え、相手に尋ねる。		
第11回	持ち物：自分の持ち物を相手に伝え、相手の持ち物について尋ねる。		
第12回	持ち物：自分や相手の持ち物について、おたがいに意見を言う。		
第13回	持ち物：室内の品物について、おたがいに何が必要かを話す。		
第14回	ショッピングセンターで：店舗構成と開店時間・閉店時間について話す。		
第15回	ショッピングセンターで：どの店舗で何ができ、何ができないか、また、何がしたいのかを話す。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590023001	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2M1～2M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2M(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標/Goal	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業方法(学習指導法) /Method	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業内容/Class outline/Con	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 パーティーには何を着ますか。		
第2回	第2回 この白いワンピースをどう思いますか		
第3回	第3回 このゴミはどこに捨てますか		
第4回	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト		
第5回	第5回 ここで犬を放してはいけません		
第6回	第6回 何歳になれば、何ができますか		
第7回	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか		
第8回	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません		
第9回	第9回 ドイツの学校		
第10回	第10回 復活祭には何をしますか		
第11回	第11回 ドイツの祭りと祝日		
第12回	第12回 カーニバル		
第13回	第13回 ドイツと日本の年末年始		
第14回	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか		
第15回	第15回 ビデオでドイツを見る		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590023002	科目番号 / Subject code	05900230	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2L1～2L3_2F1～2F3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝			
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
対象学生(クラス等) /Object Student	2L1～3、2F1～3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員TEL/Tel	096-322-0277			
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしながら、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。			
授業到達目標/Goal	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引ながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。			
授業方法(学習指導法) /Method	・前期の教科書を引き続いて使用。 ・教科書に従って、初級文法を確認し、応用しながら、平易なドイツ語文章を数多く読んでゆく。 ・教科書は、推理小説風の物語を中心に構成されている。他に時事的な報告文や文学作品から抜粋などもある。これらの長文を読んでゆくことを、授業の中心にする。 ・関連する文法の練習問題にも取り組む。 ・教室では毎回3～4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 ・できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。			
授業内容/Class outline/Con	・後期は8課から始めて12課まで読む。3回の授業で1課を終える。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	「ドイツ語の時間 ―読解編― <読めると楽しい>」 清野智明、須藤温子、曾田素子 著、朝日出版社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第8課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。			
第2回	第8課の続き、和訳と練習問題(話法の助動詞など)。			
第3回	第8課の続き、和訳と練習問題(未来形など)。			
第4回	第9課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。			
第5回	第9課の続き、和訳と練習問題(動詞の三基本形など)。			
第6回	第9課の続き、和訳と練習問題(現在完了など)。			
第7回	第10課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。			
第8回	第10課の続き、和訳と練習問題(形容詞の用法など)。			
第9回	第10課の続き、和訳と練習問題(比較級と最上級など)。			
第10回	第11課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。			
第11回	第11課の続き、和訳と練習問題(関係代名詞など)。			
第12回	第11課の続き、和訳と練習問題(命令形など)。			

第13回	第12課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。
第14回	第12課の続き、和訳と練習問題（接続法など）。
第15回	第12課の続き、和訳と練習問題（接続法の用法）。
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590023003	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2E1～2E6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、 またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて 各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Goal	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、 語彙を増やし定着させること、 ドイツ語的な表現・発想の理解。		
授業方法(学習指導法) /Method	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。 解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。		
授業内容/Class outline/Con	毎回任意の学生を指名し、宿題に出した問題の解答を板書してもらいます。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示 をしてください。 知らないことや間違いがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 また学期中数回小テストを実施する予定です。 基本的には教科書に沿って進みますが、下記はあくまでも予定です。 授業の進度や扱う課の順番は状況に応じて変わります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satzübungen für Anfänger(はじめての独作文)』(朝日出版社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に定期テストの点数で評価します。 しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合があるので注意してください。		
受講要件(履修条件) /Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	現在完了形・過去完了(未来形・未来完了)		
第2回	形容詞の格変化		
第3回	受動		
第4回	zu不定詞[句]		
第5回	比較		
第6回	非人称		
第7回	話法の助動詞(1)		
第8回	話法の助動詞(2)		
第9回	関係代名詞		
第10回	指示代名詞		
第11回	再帰代名詞		
第12回	命令法・分詞		

第13回	要求話法
第14回	非現実話法
第15回	間接話法
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590023004	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2T1～2T5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2T1-2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標/Goal	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法(学習指導法) /Method	二人一組で、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(50%)、定期試験(50%)		
受講要件(履修条件) /Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見る。前期の復習。		
第2回	服装の好みを話す。		
第3回	服を買う。		
第4回	ゴミの分別。		
第5回	エネルギーの節約。		
第6回	学校の環境プロジェクト。		
第7回	公共の場所で禁止・許可されていること。		
第8回	何歳で何ができるか。18歳で飲酒。		
第9回	教育制度について。		
第10回	卒業資格と職業。		
第11回	職業相談所で。		
第12回	ドイツの祝日はほとんどがキリスト教に関係している。		
第13回	イースターについて。		
第14回	クリスマスとアトベント。		
第15回	ドイツと日本の年末年始。		
第16回	総復習。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590023005	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2T6～2T10)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) /Object Student	2T6～2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。		
授業方法(学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	* 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業終了前に授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、ディクテーションあり)50%		
受講要件(履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.43-44)		
第2回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.45-46)		
第3回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.47-48)		
第4回	Lektion9:Essen und Trinken (S.49-50)		
第5回	Lektion9:Essen und Trinken (S.51-52)		
第6回	Lektion9:Essen und Trinken (S.53-54)		
第7回	Lektion10:Weihnachten (S.55-56)		
第8回	Lektion10:Weihnachten (S.57-58)		
第9回	Lektion10:Weihnachten (S.59-60)		
第10回	Lektion11:Mode (S.61-62)		
第11回	Lektion11:Mode (S.63-64)		
第12回	Lektion11:Mode (S.65-66)		

第13回	Lektion12:Mein Wunsch (S.67-68)
第14回	Lektion12:Mein Wunsch (S.69-70)
第15回	Lektion12:Mein Wunsch (S.71-72) 後期のまとめ、模擬試験
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/19			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590023006	科目番号 / Subject code	05900230	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2D1・2D2_2K1～2K3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史			
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
対象学生(クラス等) /Object Student	2D1・2D2_2K1～2K3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。			
授業到達目標/Goal	・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。			
授業方法(学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。			
授業内容/Class outline/Con	* 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくること。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業終了前に授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。			
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、ディクテーションあり)50%			
受講要件(履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.43-44)			
第2回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.45-46)			
第3回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.47-48)			
第4回	Lektion9:Essen und Trinken (S.49-50)			
第5回	Lektion9:Essen und Trinken (S.51-52)			
第6回	Lektion9:Essen und Trinken (S.53-54)			
第7回	Lektion10:Weihnachten (S.55-56)			
第8回	Lektion10:Weihnachten (S.57-58)			
第9回	Lektion10:Weihnachten (S.59-60)			
第10回	Lektion11:Mode (S.61-62)			
第11回	Lektion11:Mode (S.63-64)			
第12回	Lektion11:Mode (S.65-66)			

第13回	Lektion12:Mein Wunsch (S.67-68)
第14回	Lektion12:Mein Wunsch (S.69-70)
第15回	Lektion12:Mein Wunsch (S.71-72) 後期のまとめ、模擬試験
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/22			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590023007	科目番号 / Subject code	05900230	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2P1・2P2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史			
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟13			
対象学生(クラス等) /Object Student	2P1・2P2			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。			
授業到達目標/Goal	・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。			
授業方法(学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。			
授業内容/Class outline/Con	* 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくること。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業終了前に授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。			
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、ディクテーションあり)50%			
受講要件(履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.43-44)			
第2回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.45-46)			
第3回	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.47-48)			
第4回	Lektion9:Essen und Trinken (S.49-50)			
第5回	Lektion9:Essen und Trinken (S.51-52)			
第6回	Lektion9:Essen und Trinken (S.53-54)			
第7回	Lektion10:Weihnachten (S.55-56)			
第8回	Lektion10:Weihnachten (S.57-58)			
第9回	Lektion10:Weihnachten (S.59-60)			
第10回	Lektion11:Mode (S.61-62)			
第11回	Lektion11:Mode (S.63-64)			
第12回	Lektion11:Mode (S.65-66)			

第13回	Lektion12:Mein Wunsch (S.67-68)
第14回	Lektion12:Mein Wunsch (S.69-70)
第15回	Lektion12:Mein Wunsch (S.71-72) 後期のまとめ、模擬試験
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590023008	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●ドイツ語 (2G1～2G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之		
科目分類 / Class type	外国語科目, B科目群 外国語科目(初習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1-2G3		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパートナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法(学習指導法) / Method	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	楽しくパートナー練習 参加型教材		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書：三宅・コッホ 「アクティブに使うドイツ語・ノイ」 三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表および課題の提出(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件) / Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
学生へのメッセージ/Message for students	次回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくとい良いでしょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ショッピングセンターで：目当ての店舗を探し、商品を購入する。		
第2回	家族：おたがいの家族構成、家族の職業、年齢、性格などについて話す。その1		
第3回	家族：おたがいの家族構成、家族の職業、年齢、性格などについて話す。その2		
第4回	家族：おたがいの家族の誕生日と誕生日のプレゼントについて話す。		
第5回	街で：街中での自分の居場所と行き先を伝え、相手の居場所と行き先を尋ねる。		
第6回	街で：行き先での予定、行き先が街中のどこにあるかを話す。		
第7回	街で：レストランでの注文と食後の支払いについて話す。		
第8回	身体と健康：病院で医師の診察を受け、薬局で薬を処方される。その1		
第9回	身体と健康：病院で医師の診察を受け、薬局で薬を処方される。その2		
第10回	身体と健康：家族や知人の外見、様子、健康などについて話す。その1		
第11回	身体と健康：家族や知人の外見、様子、健康などについて話す。その2		
第12回	週末：おたがいに週末どこにいて、何をしたかを話す。その1		
第13回	週末：おたがいに週末どこにいて、何をしたかを話す。その2		
第14回	週末：おたがいに週末どこにいて、何をしたかを話す。その3		
第15回	休暇：行き先と現地での予定について話す。		
第16回	定期試験		